

第3回宗像市地域公共交通会議会議録

日 時	平成24年10月24日(水) 13時00分～14時30分
場 所	市役所北館第202会議室
出席者	【委員】永尾英信、牛嶋賢一(白石代理)、大枝良直、中條光秋、森 正彦、岡田祐一、花田俊六、権田要助、前田 誠、大嶋長治、早川正史、貫 一字 原田勝子、平田恵美、峯 久子 【事務局】大隈課長、高山係長 松山、小島
確 認	前回議事録の確認
報 告	ふれあいバス時刻の修正について
議 題	1) コミュニティバス路線等の見直しについて 2) 料金体系について 3) 土日運行について

1 会長あいさつ

皆様お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。それではただいまから第3回の地域公共交通会議を行いたいと思います。活発なご意見をお願いします。それでは早速入らせていただきます。

2 前回会議録の確認

事務局から説明

意見なし

3 報告

事務局からの説明

意見なし

議題

(1) コミュニティバス路線等の見直しについて

(事務局)

各路線説明

(永尾会長)

ふれあいバスの路線・時刻を確定しまして、今回5つのコミュニティバスについて決定していただく。ひとつひとつ検討していきたいと思います。

まずは吉武地区から。

意見なし

次に河東地区。

意見なし

続いて南郷地区。

意見なし

続きまして池野・岬地区

(権田委員)

今回岬・池野と曜日で運行日を分けたが、池野の病院前で停めていただけないかとの要望があり、今回池野の病院前に停めさせていただく。池野地区の方も利用できると思う。

(永尾会長)

池野・岬も便利が良くなる。

それでは玄海地区。これはほとんど変更がないですね。

意見なし。

全体を通して質問、ご意見等ございましたら。

意見なし

それでは5地区のコミュニティ路線については地域で十分お考えいただいた結果ですので、このまま承認とします。

(原田委員)

南郷地区のバスの時刻について、かのこの里からユリックスへ8時台のバスを検討いただけるか？7便の前にもう1便できるか？

(事務局)

南郷地区は様々なところをまわる系統であり、今の時刻表も地域で考えていただき地域の了承をいただいているものです。7便の前にユリックス行きを1便増やすのは他の路線に影響するため難しい。

(岡田委員)

南郷の路線について説明させていただきます。今回の変更はサンリブへの乗り入れと、林外科、自由ヶ丘郵便局前のバス停設置です。バス停設置については、試験運行時に停車していた場所であり、要望が多かったため、今回復活させていただくことになりました。サンリブの乗り入れは8便、14便で行わせていただくが、休憩時間と

今までの15便をカットすることにより実現しています。それ以外の時刻については手をつけていません。

ユリックス、メイトムについては不便かもしれませんが、そういった理由で林外科、サンリブを優先させていただきました。

(原田委員)

ありがとうございました。

(永尾委員長)

それでは議題2の料金体系について説明をお願いします。

(事務局)

料金体系について説明

(永尾委員長)

それでは引き続きA4の資料をご覧ください。これは私が個人的に作ったもので、将来にわたって持続可能な運行を確保するための現状、課題、対策をまとめたものです。

内容説明

それではご質問、ご意見ををお願いします。

(峯委員)

時刻表をわかりやすく、みやすくしてほしい。

(事務局)

市で作成すると、どうしても全ての路線の時刻表、路線図を表示する必要があり、見にくくなる。冊子にしてページ数を増やすという方法あるが、現状の時刻表が限界かなと思っている。

今後は、各コミュニティ運営協議会にご協力いただいて各地区の利用者がわかりやすい表を作成していただいて、コミュニティ便りで掲載するなど、市からも働きかけていきたいと考えている。

(永尾委員長)

中條委員、時刻表について専門家の目からみていい意見がないでしょうか？

(中條委員)

全体をわかりやすくすると、字も小さくなるなど見にくくなる。当社のバス停でも時刻表について一般のお客様から要望が出ている。当社としても考えていきたい。

(平田委員)

バス停の時刻表については河東のコミバス会議でも見にくいとの話がでた。現在のコミュニティバスの時刻表はその路線の全てのバス停名が表示されている。西鉄バスでは、そのバス停の時刻表だけが明記されており、あとはそれぞれのバスの行き先が記されているだけでわかりやすい。そのようにできないか？

(事務局)

ひとつ問題なのは、コミュニティバスは西鉄バスと違い、大通りだけを通っておら

ず、どこを通過してどこに行くかがわからない方がいらっしゃる。その辺の周知が進めば可能だと思う。西鉄さんのお知恵も借りながら、いろいろ検討したい。

(平田委員)

家に貼る分には大きくていいが、できれば持ち運べる時刻表を作って欲しい。

(事務局)

持ち運びのサイズになると、文字のサイズが小さくなり利用者の大半を占める高齢者の方が利用しづらいものとなるため、断念した経緯があります。

それぞれの地域のみということであれば、ある程度、字の大きさは確保できるが、接続等がわからないため意味がないものになってしまいます。

(原田委員)

現在の時刻表の字の大きさは維持してほしい。

(花田委員)

料金体系についていいですか？

大島の渡船については何億かで運行している。それに比べるとバスの分はたいした額ではない。そういう考えもある。

船は片道の金額が確か500円程度でしたかね？それを考えるとバスの料金値上げの検討も必要ではないかと思います。

(平田委員)

西鉄バスとふれあいバスでは、利用方法によっては、西鉄バスよりふれあいバスが高くなる場合もある。現行の200円程度が妥当だと思う。それ以上になると利用者が減ると思います。

(花田委員)

西鉄バスの走っていないところを走るというのが特徴だと思います。私はある程度の値上げは必要なのではと思います。

(平田委員)

西鉄バスとふれあいバスの乗り継ぎはニモカで割引がある。ふれあいバスとコミュニティバスでも検討できないか？

(事務局)

コミュニティバスはニモカが入っていないので無理です。西鉄バスとふれあいバス、ふれあいバスとふれあいバスは割引が適用されている。コミュニティバスへのニモカの導入も考えたが、車が小さく物理的に難しい。

(平田委員)

長崎の路線バスでは乗継チケットがあるが、そういうのは無理か？

(事務局)

長崎のチケットは、割引というより直接いけないところのチケットは購入しなくても乗れるというものなので、宗像の乗り放題と同じではないか？

(永尾会長)

1日乗り放題券、一般400円、高齢者200円を購入いただくと、何度でも乗ることができる。

(平田委員)

それを買ったほうが良いということですね。1日乗車券の利用者は多いですか？

(事務局)

多いです。やはり往復の金額で購入いただけますし、購入いただくとその日はふれあいバス、コミュニティバス何度でも利用いただけるので、市でも案内しています。

(事務局)

すみません。先ほどの割引の件で、西鉄バスとふれあいバスの乗継割引はやっていませんでした。

(平田委員)

検討いただけないでしょうか？

(事務局)

検討していますが、あの割引の仕組みはお互いが費用負担しているものなので、様子を見ましようということになっています。つまり割引分を市で負担することになるので、それをやれば単純に負担額が増加します。

(花田委員)

1日乗車券は往復の金額で何度も利用できる。1日乗車券をもっと宣伝し、大いに利用していただくことが大事。

(岡田委員)

料金を下げると利用者が増えて、料金を上げると利用者が減るのでしょうか？何も交通手段がない場合は料金が少々あがっても乗るでしょうし、料金が下がったからといって、今まで利用していない方が乗ることは期待できない。それよりは例えば、高齢者で元気な方は多いですし、高齢者と障害者を同じ金額にしくてもいいのでは。私はもともと一般の料金が安すぎるのではないかと考えています。一般が500円になれば、高齢者は300円、障害者は200円なり100円なりというようなもう少し細かく分けるのもいいのではないのでしょうか。

(花田委員)

私は高齢者だから料金を優遇するというのはあまり関心しない。むしろ障害者に対しての優遇は必要だと思います。

(岡田委員)

自分で乗れる人と乗れない人で差がついてもいい。

(貫委員)

料金について、お年寄りの方は単純な方が理解しやすい。まずは1日乗車券が便利ですよと大きく打ち出すのが良いのではないか。今まででていた意見は段階的に検討していけばよいと思う。

(森委員)

ふれあいバス、コミュニティバスを広告媒体として考えられたことはありますか？
(事務局)

車内広告は要綱もあり、民間のかたにも利用いただけるようになっています。公表もしておりサンリブさんが検討されたこともあるのですが、断念されました。これについてももう一度PRしていく必要があると思っています。

(権田委員)

私どもの役員会で、どうしてもバスを必要とする人がいる中で、ただ縮小、廃止というのは弱者の切捨てではないかという意見が出た。廃止になってもどうしても必要とする人がいる。その辺の対応はどうするのかと。私からは、路線が赤字にならないように地域で宣伝していかなければならないということを行ったが、地域の意見として、そういう意見もあります。

(事務局)

料金体系についてはこの会議での調整事項になりますので、4月からも現在の料金体系と同じでいいかの確認をさせていただきたい。

(永尾会長)

それでは、料金の見直し等は次の段階でということで、現在の料金体系で平成25年4月以降もいくということによろしいでしょうか？

(全員)

はい。

(永尾会長)

料金の関係でいくつか意見が出ましたので、確認したいと思います。まず、1日乗車券について、便利なものなのでもっと広報、周知するようにとの意見がでました。それと西鉄バスとの乗継割引について難しい面があるが検討してはどうかという意見。障害者の割引については必要だが、高齢者は一般料金と格差を設けなくてもいいのではという意見。車両の外中を広告媒体として利用するという意見が出ました。以上が料金関係でいただいた意見ですが、こういったことで収入の増につなげていけたらと思います。ありがとうございました。

それでは議題の最後ですが、土日運行について事務局説明をお願いします。

(事務局)

説明

(平田委員)

日曜日に利用したいという意見をいただくことがある。第2、第4日曜日運行していることを知らない方もいらっしゃる。家族で日曜日に買い物に行く方もいるのでは？

(峯委員)

土曜、日曜日は子どもがいるのでバス利用しなくても行くことができる。日曜日は病院もないし、偶数日の日曜日は運行するという周知さえできればいいと思う。

(貫委員)

タクシーでも、日曜日の利用者はかなり少なくなる。

(森委員)

朝からタクシーは待機しているが、ほとんど利用者がいない。コストはかかるが、利用者の皆様の利便性を考え、朝から待機している。ふれあいバス、コミュニティバスについても無尽蔵にできるのであれば、朝から晩まで日曜日にも運行するのが良いが、限られた予算の中でやっている。日曜日に運行したことにより、採算があわなくなり、バスの存続に影響するのであれば第2、第4のみの運行にするのがいいと思います。説明であったようにバスの修理、点検があるということであれば、なおさらです。

(花田委員)

JRも日曜の便は減らしている。

(中條委員)

西鉄バスも日曜日はかなり減らしています。

(森委員)

福岡市内のタクシーの日曜日は普段の半分です。

(平田委員)

であればあとは周知の仕方ですね。

(永尾会長)

確かに第2、第4日曜日の運行は中途から変更したもののなので、十分浸透していないということはありませんね。

(平田委員)

あとは周知をよろしくお願いします。

(永尾委員)

それでは4月からの運行に着きましても、現行どおり第2、第4日曜日の運行ということでよろしいでしょうか？

(全員)

はい

(永尾会長)

議題は全て審議いただきました。その他ご意見ありますか？

(事務局)

まだ確実な話ではないが、ゆめタウンのバス停について現在裏の駐車場をふれあいバス、コミュニティバス専用のバス停として無償で貸している。今回店長が変わられて、一般駐車場と併用できないかとの意見をいただいた。バス停設置当初、西鉄バスさんとの協議の中で、安全面の問題、旋回のスペースの問題で兼用は難しいとの話を聞いており、今後の協議の結果、旋回ができなくなれば、路線等の変更が必要になります。来週ゆめタウンとお話をさせていただく際に、乗入便の増加等含めて十分説明させていただきますが、路線の変更になった場合は再度会議で提案させてい

ただくことになります。

(永尾会長)

他にございますか？

(峯委員)

メイトムを利用している方の意見です。足がない方がタクシーでしか行けないとの意見を聞いている。何かイベントがある際には、無料とはいいませんので、臨時バスを出していただけると助かります。

(永尾会長)

伝えておきます。

それでは最後に大枝副会長お願いします。

(大枝副会長)

コミュニティバスの路線がサンリブ、ゆめタウンなどに直結するというので、個人的には非常にいい案ではないかと思えます。委員の方からあったように見やすい案内をしてほしい。それぞれの地域で市役所に行くなど代表的なプランを作ってくださいといいと思う。小さい時刻表は字が小さくなるというデメリットはあるが、持ち運びができるという意味では非常にいい案だと思います。この辺はいろいろ改良の余地があると感じました。

料金体系ですけれども、通常の料金とは違うところでお金を稼ぐ方法がありそうだという意見が出ており、非常に有効だと思います。料金の値上げについては、バスを利用する人は、基本的にはバスしか移動手段がない方で、料金を上げてもし方がないという方だと思います。ただ、料金を上げると利用頻度が減るということもあるので、逆に減収になることも無きにしも非ずだと思います。

高齢者に対して免許返納を促すということをやりながら、料金を上げるということは、市民に訴えるときに問題があるかなと思いますので、その辺の取り扱いをどうするかという問題があります。また、高齢者はこれからも増加する傾向ですし、それに伴いバス利用者の増加も考えられます。料金値上げを考えるときにその点も考慮しなければならぬと思います。

以上が私の感じたところでございます。

(永尾会長)

ありがとうございました。それでは次回の日程と内容をお願いします。

(事務局)

今回は年明けになりますので、再度調整させていただきます。作成した時刻表等を提示させていただきたいと思えます。

(永尾会長)

今回は年明け、2月、3月で調整させていただきます。内容は作成した時刻表等の提示と、今日ご審議いただいた利用促進策についてご審議させていただきたいと思えます。ありがとうございました。